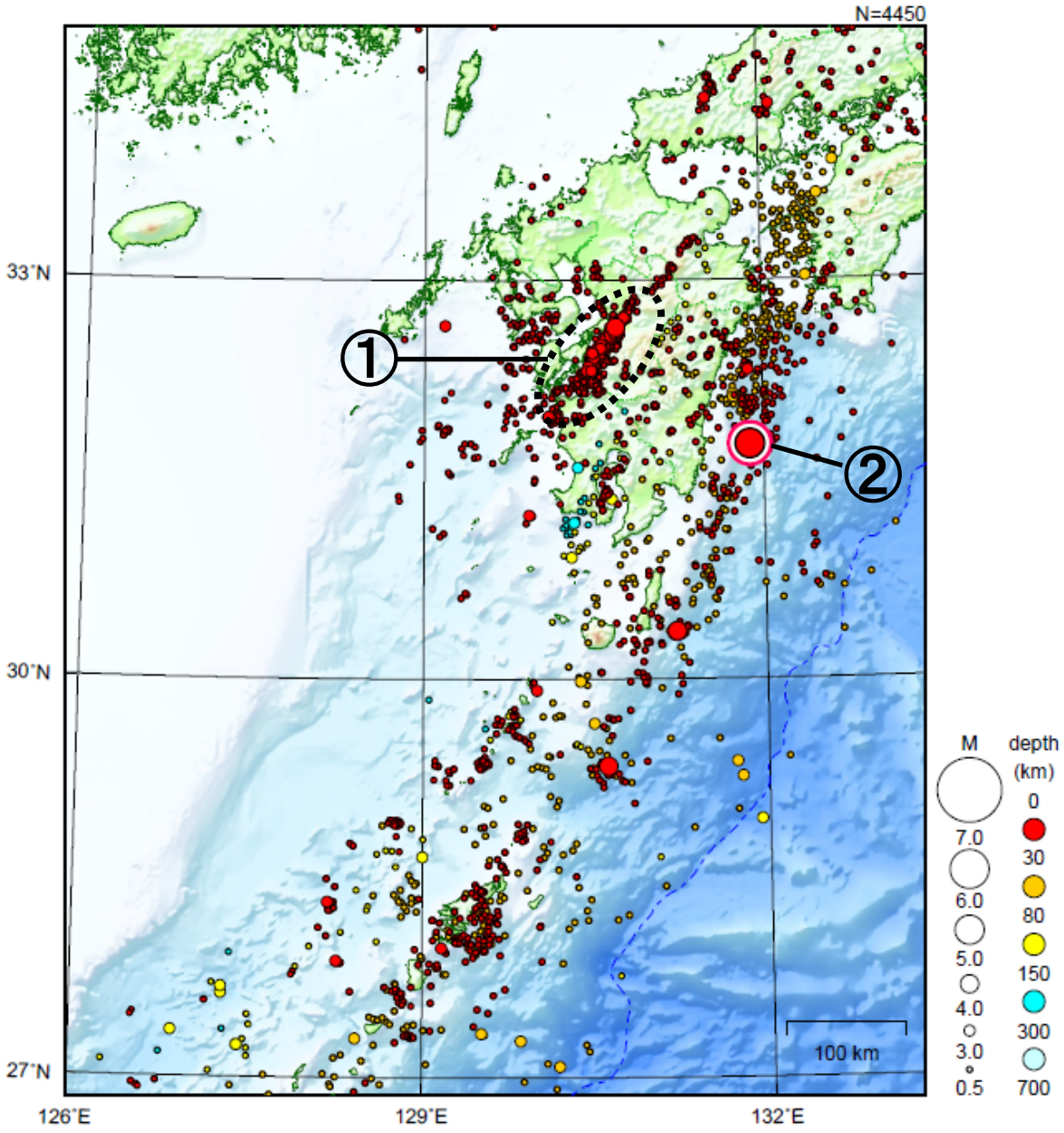
九州地方

2026/10/01 00:00 ~ 2026/10/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 「令和８年熊本地震」の地震活動域では、10 月中に震度１以上を観測した地震が 66 回（震度３：３回、震度２：19 回、震度１：44 回）発生した。

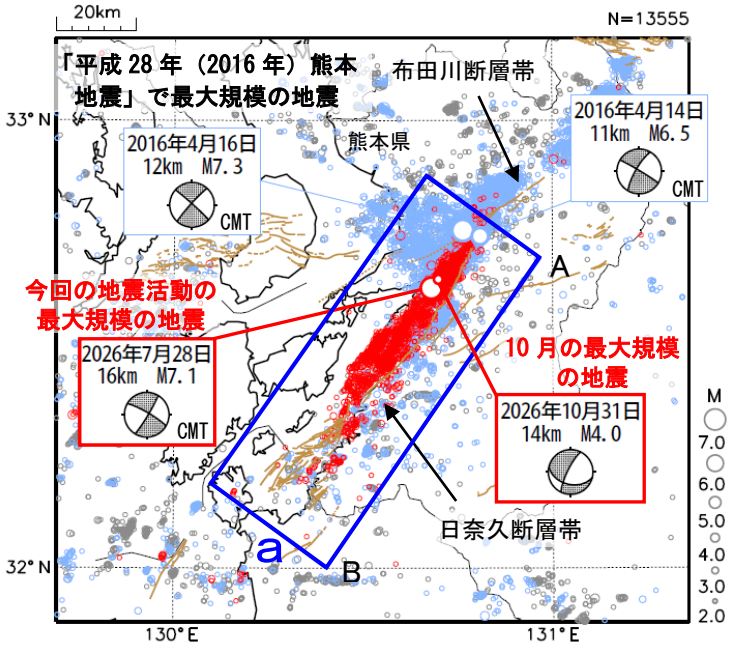
② 10 月 25 日に日向灘で M5.2 の地震（最大震度３）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

「令和８年熊本地震」の地震活動

震央分布図
（2000 年 10 月 1 日～2026 年 10 月 31 日
深さ 0～20km、M≧2.0）
2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○
2016 年 4 月 14 日 21 時以降の地震を水色○、
2026 年 7 月 28 日 16 時以降の地震を赤色○で表示
茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示す



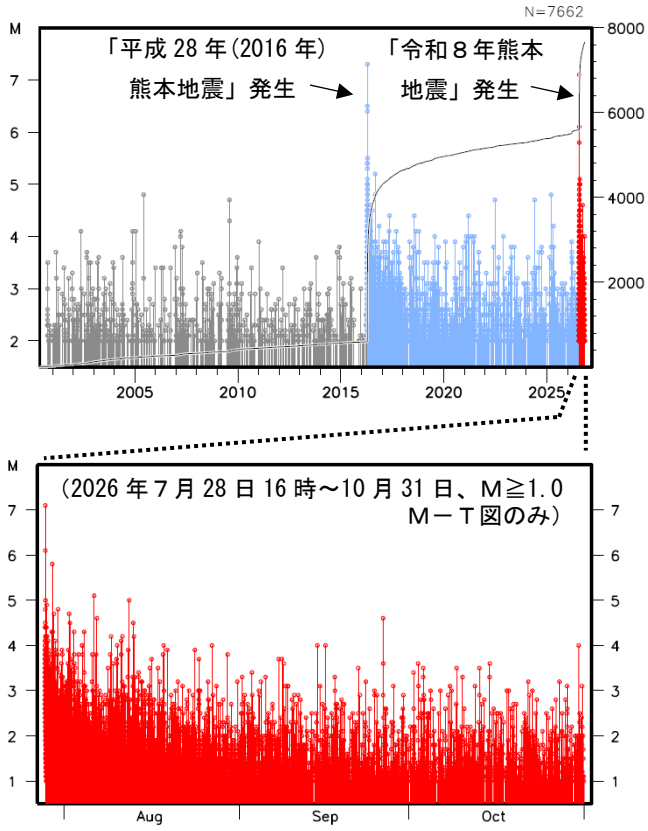
「令和８年熊本地震」の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。

10月中に震度１以上を観測した地震は、66回（震度３：３回、震度２：19回、震度１：44回）発生した。このうち最大規模の地震は、31日01時45分に発生したM4.0の地震（深さ14km、最大震度３）である。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北北西－南南東方向に張力軸を持つ型である。

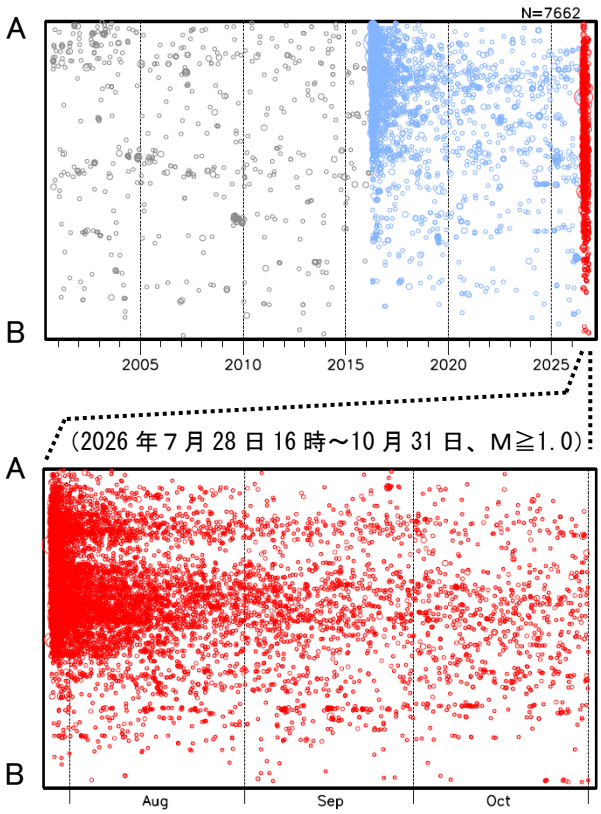
今回の地震活動により、死者38人（災害関連死の可能性がある死者を含む）、負傷者376人、住家全壊2,408棟、半壊7,802棟などの被害が生じた（被害は2026年10月５日12時00分現在、総務省消防庁による）。

2000年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動域の周辺（領域ａ）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。「平成28年（2016年）熊本地震」では、熊本県で死者275人、大分県で死者３人などの被害が生じた（熊本県は2025年４月11日現在、熊本県による、その他は2019年４月12日現在、総務省消防庁による）。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ａ内の時空間分布図（Ａ－Ｂ投影）



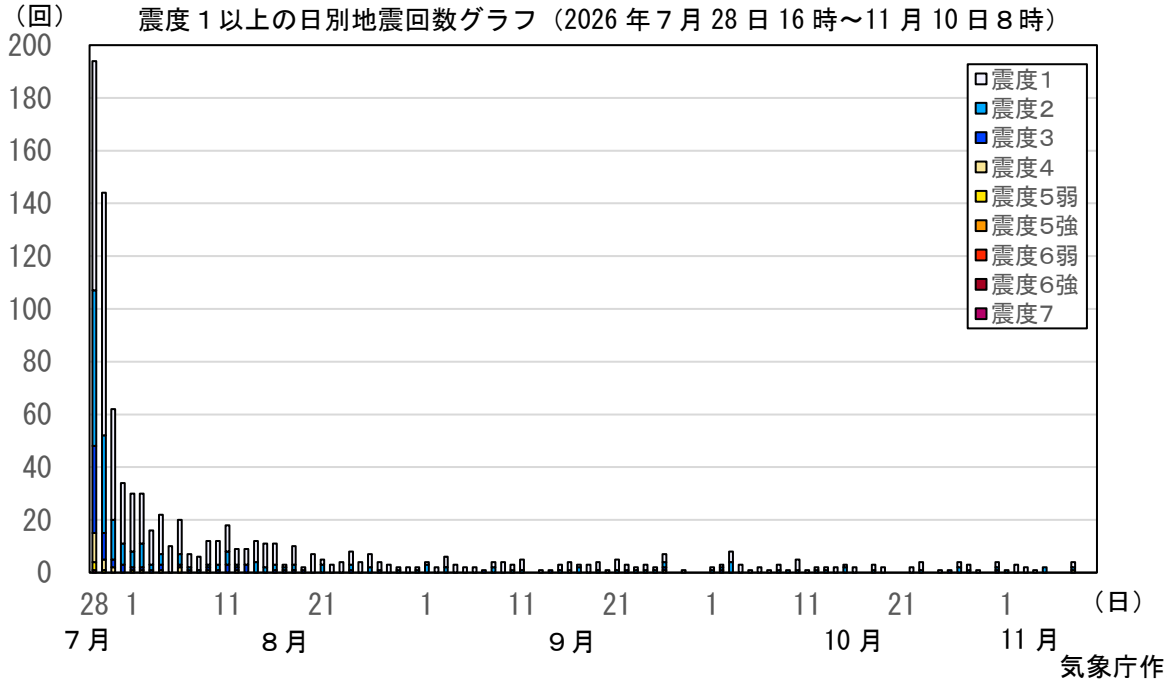
気象庁作成

「令和８年熊本地震」の最大震度別地震回数表

期間	最大震度別回数									合計	累計
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7		
7月28日-31日	244	119	49	17	4	0	0	0	1	434	434
8月1日-31日	216	56	22	6	1	0	0	0	0	301	735
9月1日-30日	54	19	4	2	0	0	0	0	0	79	814
10月1日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	816
10月2日	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	819
10月3日	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	827
10月4日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	830
10月5日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	831
10月6日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	833
10月7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	834
10月8日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	837
10月9日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	838
10月10日	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	843
10月11日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	844
10月12日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	846
10月13日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	848
10月14日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	850
10月15日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	853
10月16日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	855
10月17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	855
10月18日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	858
10月19日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	860
10月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	860
10月21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	860
10月22日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	862
10月23日	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	866
10月24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	866
10月25日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	867
10月26日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	868
10月27日	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	872
10月28日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	875
10月29日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	876
10月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	876
10月31日	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	880
11月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	881
11月2日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	884
11月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	886
11月4日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	887
11月5日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	889
11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	889
11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	889
11月8日	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4	893
11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	893
11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	893
合計	566	217	78	26	5	0	0	0	1		893

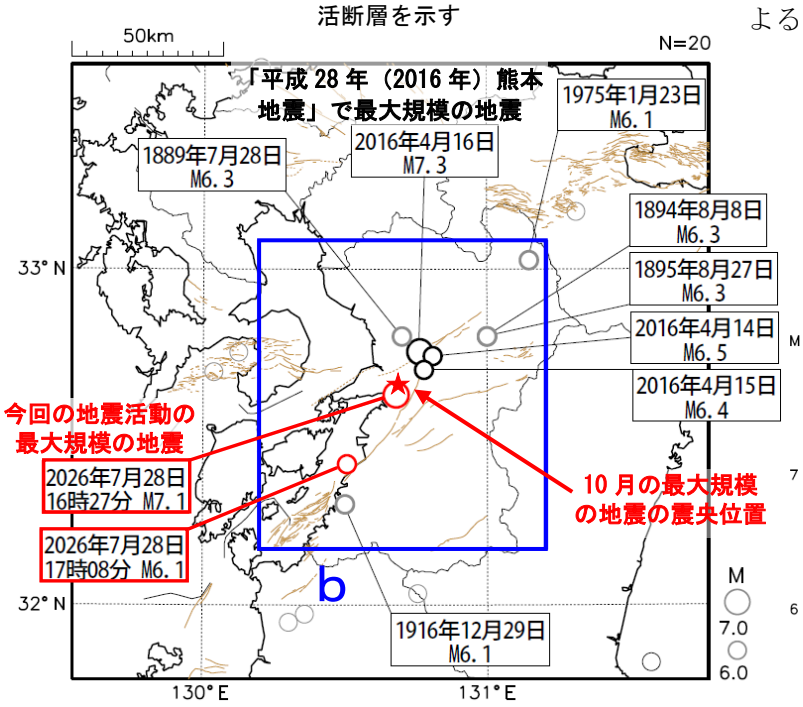
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがある。

震度１以上の日別地震回数グラフ（2026 年７月 28 日 16 時～11 月 10 日８時）



気象庁作成

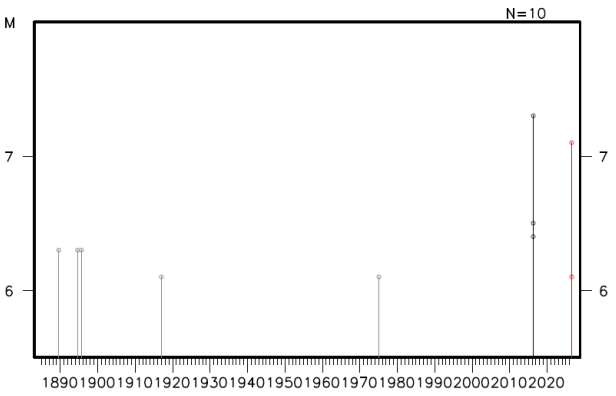
震央分布図
（1885 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～50km、M≧6.0）
2016 年４月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○
2016 年４月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○、
2026 年７月 28 日 16 時以降に発生した地震を赤色○で表示
茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示す



（震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

1885 年以降の活動をみると、今回の地震活動域の周辺（領域ｂ）では M6.0 以上の地震が今回の地震活動を含めて 10 回発生している。1889 年７月 28 日に発生した M6.3 の地震により、死者 19 人、負傷者 53 人、家屋全倒 234 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図

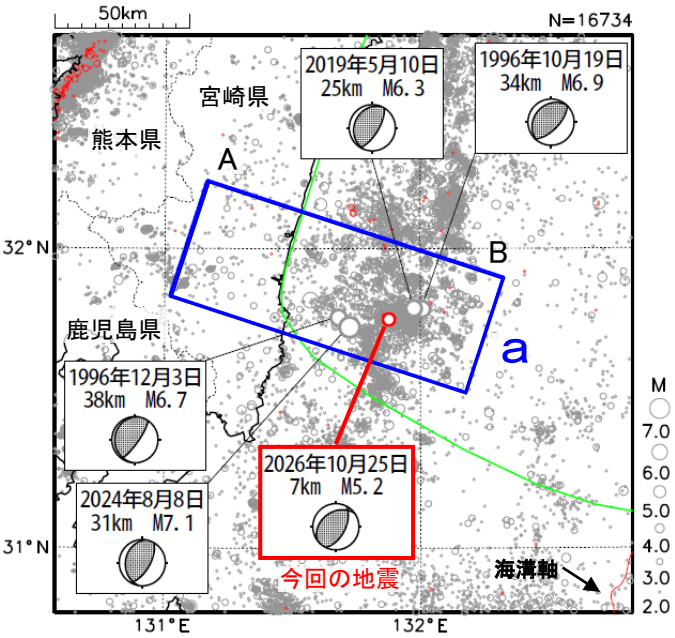


※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年, 震研彙報, 57, 401-463.
宇津徳治（1985）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年（訂正と追加）, 震研彙報, 60, 639-642.
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表,「地震の事典」第２版, 朝倉書店, 657pp.

気象庁作成

10 月 25 日　日向灘の地震

震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2026 年 10 月 31 日
深さ 0～80km、M≧2.0）
2026 年 10 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

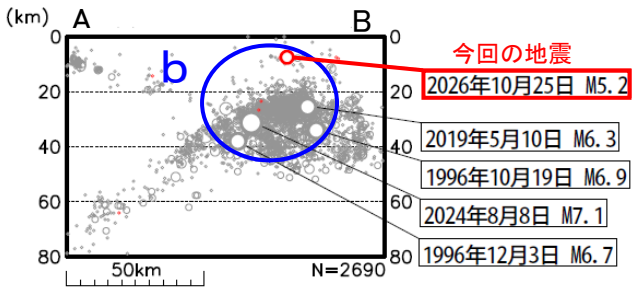


2026年10月25日08時59分に日向灘の深さ７kmでM5.2の地震（最大震度３）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

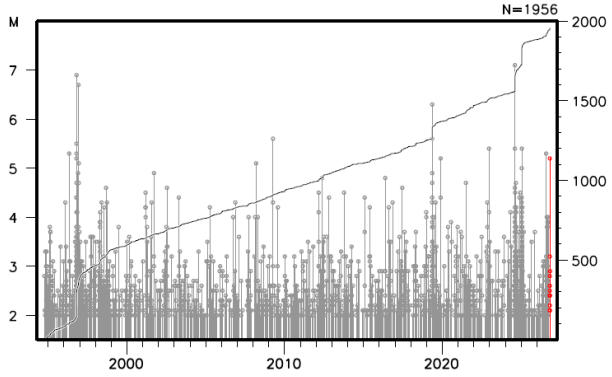
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）ではM6.0以上の地震が４回発生している。2019年５月10日にM6.3の地震（最大震度５弱）が発生し、負傷者３人の被害が生じた（被害は2020年９月30日現在、総務省消防庁による）。また、2024年８月８日にM7.1の地震（最大震度６弱）が発生し、宮崎県の宮崎港（国土交通省港湾局）で最大51cmの津波を観測したほか、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）ではM7.0以上の地震が４回発生している。1961年２月27日に発生したM7.0の地震により、高知県の土佐清水で95cm、宮崎県の油津で90cm（いずれも全振幅）などの津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

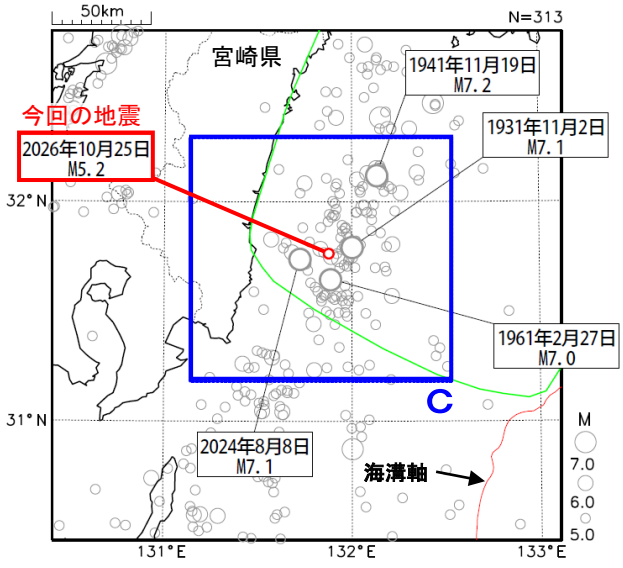
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



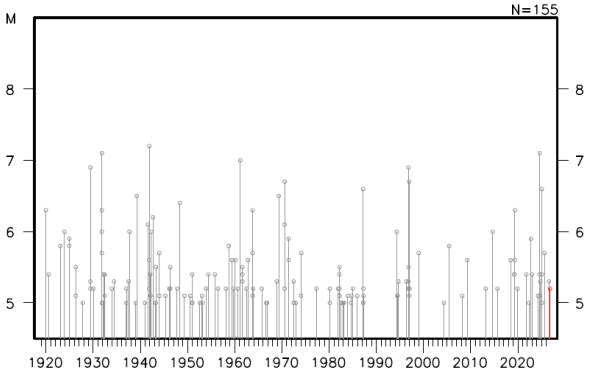
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、M≧5.0）
2026 年 10 月の地震を赤色○で表示
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成